

世渡り上手

世の中にはうまく世渡りする人が結構見受けられる。以前住んでいた近所に、喫茶店が出来た。ところが、お客さんが入ったところを見たことがない。実は、後で判ったことだが、建築事務所だったのです。この意味がお判りですか。喫茶店はお客さんがはいらないので、赤字運営です。会社は税金を払わなくて済みます。また別の事例で、ある会社は多角経営をしていて、社長の母親が旅館の女将さんにあこがれ、その願いを入れて、旅館を任されたが、赤字経営になってしまったが、会社にとっては、主な仕事が儲かれば、後は、総合的に経営が成り立てば、それでよいのです。また、税制が変わるたびに、それを逆立てて、利用する人もいます。例えば、A社が一億円の土地を購入して、B社に7000万円で転売すると3000万円の赤字になり

ますので赤字申告をします。1年以内にB社から5000万円で再び購入します。B社は2000万円の赤字です。A社はその5000万円の土地を孫に財産贈与をします。贈与税は無税です。A社は結局、税金を納めなくて済むことになります。ちよっとおかしいことになりましたね。実は、B社は息子の別会社ですから、問題ないのです。このようにして、世渡りの上手な人はお金がどんどん懐に入ってくることになります。